

令和2年度 環境省受託事業 化学物質環境実態調査  
分析法開発物質一覧

題	GC/MSによる大気中のメチルアミン分析法の検討		
研究期間	H31～(継続)	担当課(主担当)	大気環境グループ(吉田)
<p>メチルアミンは、農薬や医薬の原材料に用いられる物質であり、中央環境審議会答申において「有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質リスト」に掲載されている。しかしながら、大気中のメチルアミンを検出・測定する方法がなかったことから、本研究では、試料採取から機器分析に至る各工程について検討し、シリカゲル系の捕集材でメチルアミンを捕集した後、超純水で抽出し、塩化ベンゾイルを用いて誘導体化したものをGC/MSにて検出する測定法を開発した。</p>			
題	LC-MS/MSによる底質中のアルキルアミンオキシドの分析法の検討		
研究期間	H31～R2(終了)	担当課(主担当)	水質環境グループ(山本)
<p>アルキルアミンオキシドは洗剤等の界面活性剤に使用されており、一般家庭等で使用・排出されたものが環境中に広がり検出されると予測される。生態系に対する影響が懸念されることから、国は化審法の優先評価化学物質に指定し、リスク評価を進めている。環境リスクは有害性と暴露量から評価することから、本研究ではこの暴露量を正しく評価できるアルキルアミンオキシドの分析方法を開発した。</p>			
題	LC-MS/MSによる水質中のアルキル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウム塩の分析法の検討		
研究期間	R2～(継続)	担当課(主担当)	水質環境グループ(山本)
<p>アルキル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウム塩は殺菌剤等に使用されており、一般家庭等で使用・排出されたものが環境中に広がり検出されると予測される。生態系に対する影響が懸念されることから、国は化審法の優先評価化学物質に指定し、リスク評価を進めている。環境リスクは有害性と暴露量から評価することから、本研究ではこの暴露量を正しく評価できるアルキル(ベンジル)(ジメチル)アンモニウム塩の分析方法の開発に取り組んだ。</p>			